



特別展 **華麗なる**
ペルシャ絨毯の世界
イラン、ミーリー工房の復元作品と古典作品

2004年12月7日(火) - 2005年1月30日(日)

開館時間 = 午前9時 ~ 午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 = 12月13日(月)、20日(月)、24日(金)、27日(月)、29日(水) ~ 1月3日(月)、
1月11日(火)、17日(月)、24日(月)

入館料 = 一般300円(240円)、小中学生100円(80円)

* ()内は10名以上の団体料金、65歳以上の方および障害者の方は入館無料、
毎週土曜日は小中学生無料

主催 = 渋谷区立松濤美術館 千代田トレーディング

協力 = イラン、ミーリー工房

渋谷区立松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART

東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL.03-3465-9421 FAX.03-3460-6366
JR渋谷駅下車徒歩15分、京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分

西アジアに位置するイラン・イスラム共和国は日本の4.5倍の大きさで、地形は山岳、草原、砂漠など変化に富み、明確な四季がある。インド・ヨーロッパ語族を祖先にもつイラン人は西アジア全域に支配を及ぼしたアケメネス朝建国から2500年以上の歴史を有す。この地に様々な民族が流入し、多くの王朝が興亡を繰り返してきた。

イランでは紀元前5世紀ごろからパイル織り（結び織）の絨毯を生産していたことを示す遺品が周辺地域から出土している。古来から遊牧生活を営んできた多くの部族にとって、移動と携帯に便利な暖かい絨毯とテントは生活の必需品であり、力強く、重厚なデザインの絨毯が織られてきた。更に、宮廷がおかれた都市を基盤とした各王朝でも華やかで複雑なデザインの絨毯が製作され、ペルシャ絨毯はその多様な美と質の高さから世界的な名声を勝ち得てきた。

しかしながら、19世紀末頃からイランにも西洋から化学染料や機械織りの染織品などが流入してきた。現代では、少数となった遊牧民でさえも次第に伝統的な絨毯製作をしなくなりつつある。

このような状況の中で、1820年から絨毯製作に従事しているミーリー家はアンティーク絨毯を研究し、古来の手紡ぎ、天然素材の染色方法、手織りの過程を復活させた。各産地の絨毯を復元し、その実績は海外でも高く評価され、絨毯業界でミーリー・ルネサンスと呼ばれている。

本展は絨毯製作に長い伝統を有するミーリー工房が古代と同じ材料と技法で復元製作した18点の現代絨毯をそのデザインの元となった古典作品18点と比較して展示するほか、ミーリー家が所蔵する19世紀から20世紀前半のアンティーク絨毯約40点を展示する。いずれも糸を結び、起毛したパイル織りの絨毯である。

更に、織りの道具、染めの材料、写真資料を展示し、イラン南西部の遊牧民、カシュガイ族のテントを再現する。また、期間限定で遊牧民による織の実演も行なう。

イランにおけるペルシャ絨毯の伝統を概観し、再創造の試みを提示する日本で開催される初めての本格的なペルシャ絨毯の展覧会である。



古典パイル織り絨毯 ジョザン 綿、羊毛 20世紀初頭 2.61×1.40m



復元パイル織り絨毯 カシヤン 綿、羊毛 2.21×1.50m



古典パイル織りクッション ジェロ、カシュガイ族 羊毛



古典パイル織り絨毯 アラバフ 羊毛 19世紀後半 1.47×1.09m



古典パイル織り絨毯 ファールス地方 カシュガイ族 羊毛



古典パイル織り絨毯 ビジャール、ガールス 羊毛 19世紀後半 1.77×0.73m



イラン南東部、カシュガイ族の黒テント

〈講演会・座談会〉

12月11日(土) 午後2時より

「ペルシャ絨毯 伝統と再創造への路」

講師・スィールズ・バルハム氏（イラン美術史家）

・ラズィ・ミーリー氏（ミーリー工房代表）

・アリ・ソレマニエ氏（千代田トレーディング代表）

〈ギャラリー・トーク〉

12月17日(金) 午後2時 当館主任学芸員

1月14日(金) 午後2時 当館主任学芸員

〈映画会〉

12月25日(土) 午後2時

NHKシルクロード「炎熱・イラン南道」

1月10日(月) 午後2時

NHKシルクロード「はるかなる大宛」

〈美術相談〉

12月26日(日) 午後2時

遠藤原三(油彩画) 新出紀久雄(水彩画)

1月8日(土) 午後2時

佐藤善勇(油彩画) 北尾和子(水彩画)

■次回展予告 2005年2月12日(土)~2月27日(日)

・2005 松涛美術館公募展

会場/B1 陳列室

・日韓現代メタルアート ジュエリーとオブジェのパレット

会場/2F サロンミュージゼ



JR渋谷駅下車徒歩15分
京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分

渋谷区立松涛美術館

東京都渋谷区松涛 2-14-14 〒150-0046
TEL.03-3465-9421 FAX.03-3460-6366